

レビュー対象商品: 無暖房・無冷房・無結露 究極断熱の家をつくる 耐震・防音・長寿命 奇跡の工法 (単行本(ソフトカバー))

住宅の性能論に踏み込んでいる本, 2012/8/28

By [キラ](#)

ナチュラルな家、自然素材にはとてもあこがれがあったのですが、いざ、現代日本で良い家作りをしようとする時、どのような具体的問題点が持ち上がってくるか、情報たっぷりによく分ります。

とくにエコ断熱材と工法についてはくわしく、従来の家がいかに結露でダメになるかが実名入りで詳しく述べられており、日本の住宅がどうして30年足らずで建て替えになってしまうのか、住宅の結露対策を初めとする性能面が出来ていない現状がしめされています。その辺りはわが家や実家のことを思い、壁の中は見えないだけになんかこわくなりました。

著者がかかげる透湿のセオリーはかなり明解ですし、たくさん例をあげてズバズバ物を言うところはたしかに経験に裏づいているものがあるようです、それだけ大手主導の住宅建築が迷走している状況を察することができます。自然派で高性能な建材を紹介しながら、日本の社会にさかんに問題提起をしています。なんなら裁判所のような公開の場所で、各断熱材を燃やす実験をしてみると著者が堂々自信をもって言いはなっているのには痛快さすら感じるぐらいです。

そんな不穏なほどの作者の調子とならんで、実際に施工してみた施主たちの率直な声ののっているのが、参考になりますね。

ねじれて曲がった棒を真っ直ぐにするためには、とにかく反対の方向に無理やり引っ張らないとダメだという比喻を本書から思い出しました。そんな強烈な内容について、読者がどう取るかがまさにわかる本でしょう。癖はそうとうありますが、実直に物を書いているのがよく伝わってきます。

レビュー対象商品: 無垢材・無暖房の家—断熱・防音・透湿!奇跡の工法 (単行本)

強い個性を感じる書き方ですが、必読書です, 2010/3/7

By **オーディオ解体新書**

これから家を作る人には ぜひ読んで欲しい本ですね。もう家を建ててしまった方は読まない方が良いと思います。後悔の念しか残りません。

高気密・高断熱・高透湿というコンセプトについて、はっきり明言している本は、筆者の書籍くらいしかありませんので、その意味でバイブル的な本とも言えます。特に水蒸気・湿気について、これほど詳しく、判りやすく簡潔に書いてある本は他には無いでしょう。このことはハウスメーカーの営業さんは全く理解されていないですし、人気の建築士さんも殆ど判っていないと思います。ごく一部の地方工務店の方が、ポツポツ稀にご存知のことで、すので、筆者の提言する<獣宅>ではない<住宅>を造るためには、読者の方々がこの本を工務店などに提示して、一緒<住宅>を<創る>作業が必要になります。

強い個性を感じる書き方です。自身が推奨するセルロースファイバーのアピールに紙面の大半が割られますが、自経験例の紹介が多く、広い視野での書き方になっていません。そとん壁などいくつかの自然材料の紹介などもあり、参考になる部分もありますが、基本的に長期優良などの制度や耐震強度などは完全に無視した内容になっていますので、そのへんは理解しておく必要があります。この本のとおりに家を作って、長期優良を取得することも出来ますが、その方法についても一切記載がありません。基本的に筆者は、お馬鹿な役人が机上で定めた、長期優良住宅の基準で家を作っても、快適な家にはならないし長期間持つ訳がないという考えです(私もそれに賛成ではあります)。しかし長期優良住宅にすると様々は優遇制度が活用できるのも事実ですので、その制度を利用するためにも、この本を完全に理解した上に、もう一歩 読者の皆さんと設計士さんと策を練っていただいて、<住宅>でありつつ長期優良住宅の認定をとれる建材選びをしていただく必要があります。

この本を読まずして、他の建築本をいくら読んでも無駄に思います。建築関係者と施主の必読書ですね。

----- コメント -----

私の本が「バイブル的だ」と持ち上げられているので少々照れますが、本を書くときは、そのような気分であることも事実ですから、うれしい評価をいただきました。

長期優良住宅について触れられていますが、この手の発想は「よし」としても、そのものが根底から間違っている物を推奨する気は全くない。

次回の本では徹底した批判を用意していますので、お待ちください。

断熱屋 山本順三